

令和3年度 さいたま市立土合小学校 自己評価書

校長 菊地 勇 印

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

(1) 「確かな学力」の育成

教員の指導力向上のため、外部講師を招いた国語科の授業研究会を年3回実施するとともに、管理職による指導の充実を図り、児童の学習意欲と基礎学力の向上を図る。

(2) 心のサポート体制の充実

配慮を要する児童、対人トラブル、問題行動、不登校等、組織的な対応を行うとともに、校長室、教育相談室等、教室以外での受け入れ体制を整えることにより、いじめの防止、不登校児の減少を目指す。

(3) 安全教育の実施

PTA校外委員、ながら見守りボランティア、下校時見守りボランティア等、地域、保護者との連携を図り、安全な登下校を実現するとともに、施設の安全校長講話、避難訓練等により児童への安全教育を充実させる。

(4) コミュニティ・スクールの推進

次年度の本格実施に向け、コミュニティ・スクール準備委員を構成するとともに、年3回のコミュニティ・スクール準備委員会を開催し、地域、保護者の理解を深めるなど準備を行う。

(5) 働き方改革の推進

校務の電子化を進めるとともに、会議、行事の精選と縮減を図り、時間外在校時間を減少させる。

2 評価結果について

(1) 保護者「学ぶ喜びのある学校づくりを行っている。」「読み書き計算などの基礎学力を身に付けさせる指導を行っている。」では、肯定的な回答（以下、全て肯定的な回答の割合）が、97%、95%と高い評価を得た。

また、児童「勉強は分かりやすい」でも90%とよりよい授業を提供することができた。

(2) 保護者「児童の悩みやトラブル・いじめなどに適切に対応している」95%、「保護者からの相談に対し、適切に対応している」95%、「温かな心をはぐくむ指導を行っている」94%といずれも高い評価を得た。30日以上長欠児童者数については、ほぼ横ばいの11名であった。

(3) 保護者「児童の事故防止に努め、施設・設備の安全に配慮している。保護者や地域の願いにこたえようとしている。」では、96%と高い評価を得た。

また、ながら見守りボランティアの登録者数も125名（前年比+28名）となった。

(4) 3回の準備委員会を実施するとともに、市教委主査を招聘し、熟議のロールプレイング等の指導をいただくなど、次年度に向けた準備を進めることができた。

(5) 学校評価アンケートの安心メール実施、児童アンケートのForms実施等進めるとともに、会議、行事の先生を図り、休校期間のあった昨年度を除くと、教職員の平均時間外在校時間は、52.0時間→39.4時間→33.4時間と年々減少させることができた。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

(1) 次年度も引き続き国語科の研究を進め、充実を図る。

(2) 心と生活のアンケート実施後の面談を確実にを行うとともに、組織的な対応を進める。

(3) PTA及びボランティア等との良好な協力関係を維持しつつ、各種行事を着実にを行う。

(4) 年間スケジュール、内容を事前に明示し、見通しをもって学校運営協議会を実施する。

(5) 校務分掌等、一部の教職員に負担が偏ることのない配置を行い、継続的に指導を行う。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。